水晶丁子頭勾玉

[主な原産国]　ブラジル
[成分]　SiO_2
[硬度]　7

弥生時代から古墳時代において大流行したといわれる勾玉。

各地で作られた勾玉は、地域や時代によってその形が微妙に異なっていました。
中でも、丁字頭勾玉は群を抜いて個性的で、当時の権力者が同族であることを明確にするため、勾玉に特徴をつけ、広域的に配布したと考えられています。
いわゆる、身分証明書の役割を果たしていたのではないでしょうか。

また、畿内から分配型※威信財的に各地へと配布されたと考えられています。
その流通状況は、三角縁神獣鏡などの分配型威信財と多く一致していることから、
かなり大きな力を持つ権力者が身に付けていたのではと思われます。

そんな丁字頭勾玉を水晶で古代風に作成しました。
この勾玉は、自分の個性を生かし、自尊心を高めることにより他者からの信望を厚くし、
絆を強くするパワーが秘められているのではないでしょうか。

健康面では、細胞活性化、解熱作用、免疫力・自然治癒力向上と考えられます。

※威信財　・入手が容易でない、
支配者階級のものが配下のものに分配した物品

取り扱い方の注意点

・特にありません。

Power Stone Salon
Magatamaya

Copyright© 2010 Magatamaya All Rights Reserved.